

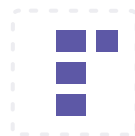
クラウドインフラの自動化

Infrastructure as Code を使用したクラウド運用モデルでの
プロビジョニング、コンプライアンス、管理

動的なインフラの プロビジョニングへの転換

クラウドを導入すると、静的なインフラから脱却して、動的なインフラのプロビジョニングと管理へと移行することができます。動的なインフラでは、無制限の容量およびサービスの配信、一時性とイミュータビリティの導入、複数の環境へのデプロイを実現できます。

静的



専用サーバー
固定の資源
同一機種

動的



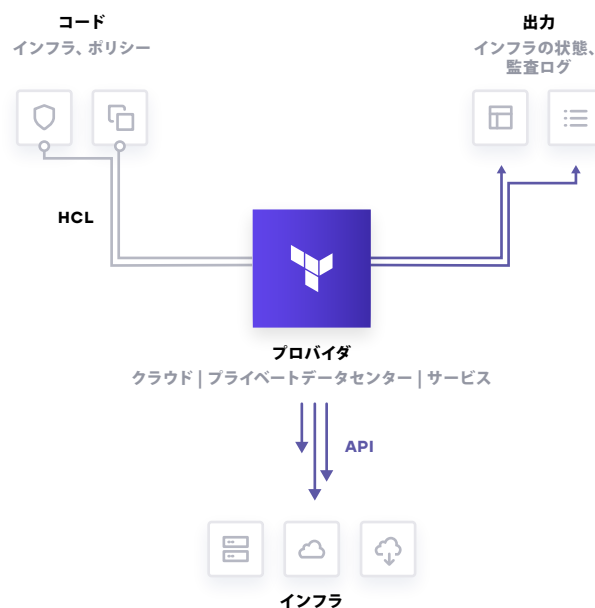
オンデマンドでの容量提供
無限の資源
異機種混合

HashiCorp Terraform

Terraform は Infrastructure as Code を活用してインフラを自動化し、パブリッククラウド、プライベートデータセンター、サービスといったあらゆるインフラのプロビジョニング、コンプライアンス、管理に対応します。

オペレータは、Infrastructure as Code によって、アプリケーション開発者がアプリケーションを開発するときと同様にインフラのプロビジョニングと管理を行うことができます。インフラをコード化したうえで検証、テストし、本番環境にデプロイするので、人的ミスやビルドの失敗が減り、生産性が向上します。

- ・ **コード:** 目的とするリソース構成を定義
- ・ **自動化:** プロバイダを活用してインフラをプロビジョニング
- ・ **出力:** リソースの状態を出力し監査イベントにログを提供



ソリューションとメリット

共同作業に適した Infrastructure as Code でチームの生産性が向上

IT 運用チームは、共同作業の機能を備えたインフラの自動化によって、コード化したインフラを安全に構築、変更、共有できます。

クラウドのコンプライアンス確保および管理強化によってリスクとクラウドのコストを削減

Policy as Code を使用したインフラの自動化によって、セキュリティとコンプライアンスを確保し、運用に関するベストプラクティスポリシーを適用します。

セルフサービスインフラで開発者のアジリティが向上

承認済みの Infrastructure as Code モジュールのライブラリが開発者に提供されるので、開発者は好みのワークフロー (VCS、CI/CD、ITSM) を使ってインフラをプロビジョニングできます。

パートナーとの連携

- ・ 200 社以上のインフラプロバイダを含む、幅広い統合パートナーのエコシステム
- ・ 異機種混合環境で統一されたサポートを提供
- ・ 現在使用しているワークフローやテクノロジーと連携可能



導入企業



www.hashicorp.com

機能

		OSS 個人向け	Cloud 小規模チームと 中小企業向け	Enterprise 大規模
Infrastructure as Code	Infrastructure as Code (HCL) ワークスペース 変数 実行 (plan と apply) リソースのグラフ プロバイダ モジュール パブリックモジュールレジストリ	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓
共同作業	リモートでの状態管理 VCS との連携 ワークスペース管理 安全な変数ストレージ リモート実行 プライベートモジュールレジストリ API のフルサポート チーム管理 SAML を使用した SSO		✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓
ガバナンスとポリシー	Sentinel の Policy as Code 管理 コスト見積り 監査ログ		✓ ✓	✓ ✓ ✓
セルフサービスのインフラ	Configuration Designer ServiceNow			✓ ✓
運用	高可用性クラスタリングアーキテクチャ パフォーマンスの水平拡張 プライベートネットワークとの接続 プライベートインストール			✓ ✓ ✓ ✓
サポート	電子メール SLA 有り 24 時間 365 日 SLA 有り		✓	✓